

■ 2026年度事業計画

導入研修

04 PHASE ① INTRODUCTORY

① 導入研修 / 10～11月・全4回

学部生（特に1～2年生）・想定30名 | 全4回・各最大2時間（講義＋ワークショップ） | 第4回後に **最終セクション（レポート提出）** を実施

- ・ 中央大学の学部生であれば、誰でも参加可能（定員30名）
- ・ 全4回のセッションはそれぞれが独立しており、シリコンバレー研修参加の必須条件とはしない
- ・ アントレプレナーシップにおける重要な3つの要素を学ぶことでシリコンバレー研修に参加できなくとも、学生のマインドに変化が期待される
- ・ 4回のセッションにすべて参加することで、シリコンバレー研修参加メンバーの選考セクションで提出するレポートの形が出来上がる
- ・ 最終レポートは講義を受けていなくても提出することができるが、各セッションへの出席（意欲）、発言（貢献度）も最終選考に影響する

①

自分と向き合えるか

What と Why を、自分ごととして深掘りに行ける人か。

②

学び、変わろうとする意欲があるか

マインドブロック外しに、思考だけでなく行動で取り組めるか。

③

他者と協働・協調・共感できるか

自己開示ができ、同時に他者を受容できるか。

全4回の内容（案）－ 各回では、出席（意欲）・発言（貢献度）・アンケート提出を求め、最終セクションの判断材料にする。

4 SESSIONS

第1回

シリコンバレーとは何か？－文化に触れ、What と Why を深掘る

Techだけじゃない「挑戦が当たり前」の文化を知り、身近な課題から「なぜ？」を掘り下げる。自分の現在地と動機に向き合う。

第2回

シリコンバレー流マインドセット－思い込みを行動で外す

失敗を肯定する考え方・成長マインドに触れ、マインドブロック外しの小さな挑戦課題に実際に取り組む。

第3回

アイデア創出ディスカッション－グループワーク&相互フィードバック

チームでアイデア創出のグループワークを実施。ワーク後、メンバー同士で互いの良かつた点・改善すべき点を発表し合う。

第4回

挑戦の仕方を学び、自分のジャーニー（挑戦）をデザインしてみる

挑戦の仕方について学び、自分に置き換え、自分の挑戦を言語化してみる。このアクティビティが最終セクションの土台となる予定。（必ずしも講義に出ないといけないわけではないが、講義に出たほうが理解が深まる設計）



行動する知性。
中央大学